

平成25年度基礎研修Ⅰ スタート！

資格取得はゴールではなく
スタートです！



基礎研修Ⅰは、1年間を通したプログラムの研修です。社会福祉士として共通に必要な価値・知識・技術を学び社会福祉士の専門性の基礎を身につけることを目的としています。

今年度の参加者は17名。先日、9月29日（日）に山口県身体障害者福祉センターにて、**集合研修1**が実施されました。

まずは、オリエンテーションが実施され、本日の基礎研修Ⅰの内容等についての説明がありました。（基礎研修Ⅰのプログラムは別紙参照。）その後、本会会長の白石義彦より挨拶が行われました。



1コマ目は、本会会長の白石より、「社会福祉士の歩み」と題し、日本社会福祉士会の設立趣旨と組織化、倫理綱領の改訂や生涯研修制度、専門職団体の活動などを通して社会福祉士会のあゆみを学ぶとともに、山口県社会福祉士会の発展や、

これからの社会福祉士の役割について確認しました。

2コマ目は、本会事務局長の辻中浩司より「日本社会福祉士会、山口県社会福祉士会の組織」についての講義が行われました。

社会福祉士の倫理綱領、組織体制や目的、会員個人の果たすべき役割、また、本会の圏

域ブロック、各委員会活動等について説明があり、参加型組織であることを学びました。





講義風景

3コマ目は、本会理事の安光洋平より「生涯研修制度」についての説明がありました。

生涯研修制度では「基礎課程」と「専門課程」の過程があり、基礎課程」は、入会后最初に履修する過程で、基礎研修Ⅰ、基礎研修Ⅱ、基礎研修Ⅲからなり、基礎研修Ⅰから基礎研修Ⅲの順で受講し、3年間で受講終了していただくことが目安としているなど、研修を受講する意味や目的について、そして、生涯研修制度と認定社会福祉士制度との関係について説明がありました。

4コマ目は、本会会員でもある山口県立大学社会福祉学部の内田充範先生が「社会福祉士会の専門性について考える」をテーマに、グループワークを行いました。



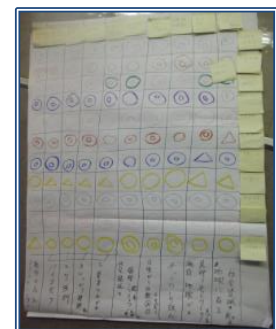
講義風景

- 社会福祉士が活動している職種は？
- 社会福祉士の専門性は？
- 専門性を高める方法は？

この演習を通して、社会福祉士の専門性とは何かを知り、専門性を高めるためには自己研鑽の必要性を学びました。



グループワーク



演習で作成した表です。
皆さま、お疲れ様でした♪

【基礎研修Ⅰ プログラム】

| 内 容 | | |
|---------------------------------|---|--------------------------|
| ①事前課題 | ・社会福祉士の役割を考える。(レポート) | |
| ②集合研修1 開催日：平成25年9月29日(日) | | |
| タイトル | 内容 | 担当者 |
| 講義 「社会福祉士のあゆみ」 | 日本社会福祉士会と都道府県社会福祉士会のあゆみを知り、専門職団体として目指すところを知る。 | 山口県社会福祉士会 会長 白石義彦 |
| 講義 「日本社会福祉士会、山口県社会福祉士の組織」 | 専門職団体としての日本社会福祉士会、都道府県社会福祉士の現状を知る。 | 山口県社会福祉士会 副会長 辻中浩司 |
| 講義「生涯研修制度」 | 生涯研修制度の目的、役割、仕組み、今後の取り組みを知る。 | 山口県社会福祉士会 理事 安光洋平 |
| 演習「社会福祉士の専門性について考える。」 | 社会福祉士の専門性に気づき、自らの将来像を描く。その目標に向かって研修に臨むことができる。 | 山口県立大学社会福祉学部 准教授 内田充範 |
| ③中間課題 | <ul style="list-style-type: none"> ①社会福祉士共通基盤の理解。(レポート2,400字程度) ②倫理綱領、行動規範の理解。(2項目レポート各1,200字程度) ③所属組織のソーシャルワーク実践について学ぶ。(レポート1,600字程度) ④他領域のソーシャルワーク実践について学ぶ。(2カ所レポート各2,400字程度) | |
| ④集合研修2 | 開催日：平成26年3月9日(日) 【講義&演習】・社会福祉士共通基盤の理解・倫理綱領・行動規範の理解 ・社会福祉士の倫理綱領の現場適用 | |

今回は、
集合研修1を実施
しました！

報告者：一般社団法人山口県社会福祉士会事務局